



平成 20 年 10 月 7 日

各 位

会社名 富士エレクトロニクス株式会社
代表者名 取締役社長 息栖 清
(コード番号 9883 東証第一部)
問合せ先 専務取締役管理部門担当
兼経理部長 木下 晴夫
(TEL 03 - 3814 - 1200)

平成 21 年 2 月期業績予想の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 4 月 7 日に発表しました平成 21 年 2 月期業績予想に関して、下記の通り修正致します。

記

1. 平成 21 年 2 月期 通期業績予想の修正

(1)連結(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	51,500	3,448	3,701	2,187
今回修正予想 (B)	44,600	3,041	3,381	1,975
増減額 (B-A)	△6,900	△407	△320	△212
増減率 (%)	△13.4	△11.8	△8.6	△9.7
(ご参考)前期実績 平成 20 年 2 月期	44,150	2,979	3,072	1,501

(2)単体(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	42,000	2,868	3,188	1,886
今回修正予想 (B)	36,000	2,559	2,942	1,727
増減額 (B-A)	△6,000	△309	△246	△159
増減率 (%)	△14.3	△10.8	△7.7	△8.4
(ご参考)前期実績 平成 20 年 2 月期	40,061	2,705	2,935	1,717

2. 修正理由

業績の太宗を占める単体において、中間期までの経過は、デジカメやオーディオなど民生機器向けの売上は好調でしたが、主力の計測器やFA機器など産業機器向け、大型コンピュータなど情報機器向け、アミューズメント向けなどの売上が期初予想を下回り、下期においても大きく回復が見込めない状況にあります。また上期に貢献した宇宙関連も減少予定であります。このような状況から売上の下方修正に伴う通期単体業績予想の修正を行いました。

連結業績予想については、単体の業績予想修正に伴い修正をするものであります。

※ 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上